



あなたがここにいるから・・・

「6年学」スタート！

1年生が入学してから約1か月。

学習、学校生活のあらゆる場面で6年生が一生懸命にサポートしています。

歓迎遠足では、往復の道のり、矢上団地近隣公園での遊び、お弁当など、終日パートナーの1年生と過ごしました。時にはなかなか思いが伝わらず、苦労する場面も…。

交流を通して、1年生は、6年生のお兄さん、お姉さん

から学校生活の約束事や遊びのルールなど、多くのことを教えてもらいます。



一方で、このパートナーとの交流活動、実は6年生にとっての学びがとても多いのです。前述したように、思いが伝わらず、時には悩みます。そうした中で、1年生に合わせて行動するなど、思いやりの心や相手意識を育みます。

相手が1年生だからこそ、ごみも拾ってあげます。重い荷物も持ってあげます。自分の欲求を抑え、我慢することができます。

私は、このパートナー活動を「6年学」と呼んでいます。本当の「リーダー6年」になるための、大切な教育活動の一つです。

「がんばれ6年生！頼むぞ6年生！」

5月のおもな行事予定です。

- 2日(木) 代表委員会
- 3日(金) 憲法記念日
- 4日(土) みどりの日
- 5日(日) こどもの日
- 6日(月) 振替休日
- 7日(火) 内科検診(1・3年)
- 9日(木) 心電図検診(1年)
- 10日(金) 避難訓練(2校時)
- 13日(月) 内科検診(2・5年)
- 14日(火) 内科検診(4・6年)
- 15日(水) 尿検査①
耳鼻科検診(1・3・5年)
- 16日(木) 委員会活動
- 21日(火) 運動会予行練習(2・3校時)
- 24日(金) 尿検査②
会場設営(5校時)
- 26日(日) 運動会
- 27日(月) 代休(運動会予備日)
- 28日(火) 全校朝会
- 30日(木) クラブ編成(6校時)

お願い～保護者の皆様へ

本校では、かねてより登下校時における自家用車での送迎はご遠慮いただいているところですが、やむなく自家用車で送迎される場合は、次の点に御配慮願います。

- 駐車スペースは、近隣駐車場の車の出入りや通行する車の妨げになっていないか。
- 子供が車から降りる際、十分に安全確認ができていますか。

また、送迎時のアクシデントを防ぐとともに、体調不良やけが等でなければ、安全を確認しながら一定の距離、自分の足で通学路を歩いて学校に向かうということも、子供にとっては大切な学びになると考えております。(裏面へ)

(表面から)

校長雑感…。

新年度が始まり、この4月、学級懇談会、授業参観へ御参加いただき、ありがとうございました。

近年、PTA 活動についての考え方も多様化し、報道では、全国的な PTA 組織や活動の見直しもたびたび報じられております。

御承知の通り、本校 PTA も数年前より希望加入制としており、本年度については、全家庭の3割弱のみなさまに御加入いただいている状況です。そのような中、現会長の吉村様をはじめ、本部役員のみなさまを中心に、日見小の子供のために、そして無理のない PTA 活動を目指して、今年度も様々に試行錯誤しながら取組を進めていただいております。

さて、本校で希望加入制となった経緯については、旧態依然の形で半ば強制的に専門部や役員となることに一定の負担感が寄せられたと伺っております。

本来、PTA 加入については、あくまでも任意であり、その活動についても強制するものではありません。

私自身、4月に本校に赴任し、PTA 本部役員の方々があくまで自発的に活動される姿、また、入学間もない1年生の下校に際し、本部役員の呼びかけに自ら集まってくださった多くの方々が笑顔で付き添い、見守ってくださる姿を見て、ありがたく思うとともに、この形で問題がないことを実感いたしました。

しかし一方で、

「PTA に入っていないので、学級や学校の活動、懇談会などに参加しにくい」

といった声も私の耳に聞こえてきました。

～あなたがここにいるから～

今年度、学校のテーマとしてこの言葉を掲げていることについては、前号でお知らせいたしました。あわせてその際、

○「あなた」が、子供たち、教職員、地域の方々、そして保護者のみなさまなど、「ここ(日見小学校)」にかかわるすべての人を指していること

○日見小で学ぶ子どもたちのために、御家庭や地域と連携・協力した教育活動を推進していきたいこと

といった校長の思いについても、御説明申し上げたところです。

そのような中、前述した「PTA に入っていないので…」といった声は、私にとって、とても残念でした。

子供の健やかな成長は、学校だけで支えられるものではありません。学校、保護者、地域がそれぞれの役割を担いつつも、しっかりと連携を強めることで、子供は安心して日々の生活を送ることができます。

つまり、

「PTA への加入、非加入など関係なく、『日見小っ子の保護者』として、可能な方が可能な時に堂々と学校と連携し、教育活動にかかわる」

そんな形が実現できないものか。

4月以降、吉村会長をはじめ、本部役員のみなさまとたびたび協議を重ねてきました。日見小ならではの理想的な姿を目指し、いまだ協議は継続中です。この件につきましては、また、何らかの方でお知らせいたします。今回は、現状及び校長の思いについて、保護者のみなさまに御理解いただければと思います。 文責：校長 稲吉伸一